



## 金沢・蘇州友好都市提携5周年



建城2500年歓迎レセプションでの金沢市長一行



### 江川市長、勝田会長ら一行、 蘇州開城2,500年祭に出席



昭和56年6月に本市は、蘇州市と友好都市関係を樹立、昨年5周年を迎えた。さらに、紀元前514年、春秋時代の呉の国都として生まれた蘇州市は、昨年2500年を迎え、盛大に祝賀行事が開催された。

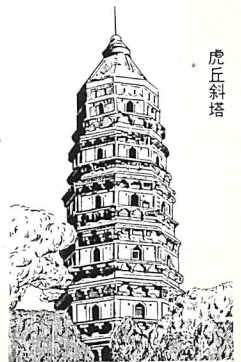
これに出席するため、江川昇市長、勝田三郎本学会会長（金沢市議会議長）、金原博典日中友好協会会長、徳田与吉郎日中友好協会顧問、清水忠市日中友好協会副会長、吉崎和子市立三和小学校校長、ほか市職員2名の一行8名が、10月13日夕、蘇州市に到着した。

14日の前夜祭に続いて、15日同市の公園会堂におい

て、本市と大阪の池田市のほかに蘇州市と友好関係を結ぶ世界の他都市の代表者、中国各関係部門の代表者、市民ら合わせて約1400名が出席して記念大会が開かれた。席上、金沢市民を代表し、江川市長は、「蘇州市にとってこの2500年祭が新しい時代の礎となるよう念願する」と述べ、会場から盛んな拍手を浴びた。

メイン行事を無事終えた一行は、さっそく市内視察に出かけ、至る所で市民の歓迎を受け、交流を深めた。

16日午前、蘇州市を離れた一行は、無錫や上海などの周辺都市を視察して、18日午後、大阪着の民航機で帰国した。



虎丘斜塔

## 金澤⇔蘇州



ミス百万石と記念撮影する蘇州市長一行

## 新蘇州市長挨拶に来沢

昨年5月蘇州新市長に選出された俞興徳氏一行5名の蘇州市政府・経済代表団は、6月10日午後来沢、さっそくその足で市長表敬に来庁、江川市長、勝田会長と固い握手を交した。百万石行列にオープンカーに乗り参加した俞市長は、沿道を埋めた多くの市民から熱烈歓迎を受けた。一行は、滞在中まつり気分一色に浸り楽しんだ後、17日まで東京に滞在、6月18日大阪空港から帰国の途に就いた。

## 蘇州市文化・物産展華やかに開催

昨年10月16日から21日まで、金沢・蘇州姉妹都市提携5周年を記念し、大和本店にて蘇州市文化・物産展が華やかに開催された。

同展開催に合わせ、楊荷生蘇州市副市長を団長とする蘇州市物産展代表団一行8名が来訪、展覧会のムードを盛り上げた。



蘇州市文化展の開会式で挨拶する尾戸助役

7階会場では蘇州市の物産品を販売、8階では書画や寒山寺のミニチュアの展示のほか、書画と両面刺しゅうの実演を行って会場を訪れた市民から好評を博した。

同代表団は、同展の開催期間中本市に滞在し、22日、次の訪問地である池田市へ向った。

## 蘇州市金型研修生が当地企業で技術習得

金沢・蘇州両市の技術交流事業として、蘇州市から夏、秋、冬の3度に分けて金型技術研修生が来訪、市内および近隣の企業に入り、金型技術を習得した。

全員蘇州市の青年で、江川市長から「日本の技術を大いに学び、貴国の近代化に役立てて下さい」と激励を受けた。



熱心に講義を受ける金型研修生

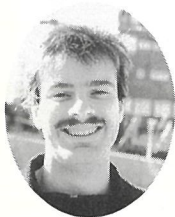


62年1月4日、蘇州市において、交歓試合をする金沢市少年サッカーチーム



61年11月8日、蘇州市内の庭園で、郷土芸能を披露する金沢市民族芸能使節団

## ナンシー市交換留学生 パトリック君が来沢



**国**立ナンシー美術学校のパトリック・バジェリ君が4月21日に来沢、金沢美術工芸大学に留学。商業デザイン専攻で1年間の留学中は、市内薬師堂町の河西忠明さん方で下宿。

### 有意義だった金沢での生活

パトリック・バジェリ

一年間の金沢生活は、とても楽しいものでした。どんなふうに…と申しますと、金沢の文化に沢山触れることができました。日本をよく知りたい外国人には、ここ金沢はもってこいの町ではないかと思えます。また次第に金沢の生活に慣れるにつれて、自分の住む国フランスの習慣が逆にはつきりとわかった、という新鮮な面白さも体験できました。

日本には親切な人ばかりでしたので誰とでも友達になるのは容易な事でした。またこれらの友達との数々の話し合いで、自分の考え方や見方を伝えたり、日本人のそれにも充分接する事ができました。言葉を克服する事は、初めは大変難題と思いましたが、会話以前に友情を伝え合う事は簡単でした。

金沢美大では、フランスの教育方針との違いを若干感じました。それは、表現の技法向上に重点を置く日本のシステムと、この表現そのものを探るのが学生の仕事とされるフランスとの違いです。初めはややこの事で戸惑いを感じたりもしましたが、この違いも留学生である私の目にはとても新鮮に写りました。また美術を志す者同志にとって個性的な考え方で意気の合う人も多く、熱っぽい話し合いや意見交換もでき、とても有意義でした。

ふり返って見るとき、ここでの生活はとても楽しく、金沢へ来れた事を本当に幸いと思えます。必要上、帰国致しますが、機会を作ってもう一度来るつもりです。

### 金沢市民族舞踊団がナンシーで熱演



各国の舞踊団でにぎわう開会式

**金**沢市民族舞踊団（団長、小津正昭市レクリエーション協会代表）一行47名が7月4日から7日までナンシー市を訪問し公演した。

これは、ナンシー市にある民族舞踊団「ロンド・ロレーヌ」の創立30周年を記念してのフェスティバルに招かれたもので、他のナンシーの姉妹都市である英国のニューカッスル市なども参加し国際色豊かな催しとなり、大いに友好を深めた。

### ナンシー市からクリスタル・ガラスの デザイナーが来沢



パトリック君の下宿先でくつろぐサビニー嬢(左)

**ナ**ンシー市に本社がある世界的に有名なドーム・クリスタル社のデザイナーであるマリー・サビニーさんが昨年5月16日に来沢した。19日に市役所を表敬訪問し、尾戸助役と歓談した。

滞在中は、パトリック君の下宿先河西さん宅で宿泊。加賀友禅や九谷焼を見学し、色彩やデザインについて熱心に質問するなど金沢の伝統工芸に深い関心を示し、20日に離沢した。

## КАНАДЗАВА⇄ИРКУТСК



### ～男子バレーボールチーム イルクーツクへ～

金 沢市は、昨年6月、イルクーツク市の開町300周年に際し、市代表団2名（団長、真館副収入役）に加え、男子バレーボール選手団13名を同市へ派遣した。

一行は、300年祭の式典を見学したり、日本人墓地に参拝などした後、イルクーツク市選抜チームとの親善試合に臨んだが、技術以前に身長之差は如何ともしがたく、結果は大敗であった。しかし大観衆を前に親善ムードはいやが上にも高まり、両市の友情を深めることでは大成功を取めた。

## スポーツで深める友情

### ～イルクーツク市の執行委員会代表団 と卓球選手団が来沢～

イ ルクーツク市執行委員会代表団2名（団長クリサーク第一副市長）、卓球選手団7名（団長エルモラエフ体育委員会会長）が昨年9月19日に来沢した。

一行は、前年同市へ金沢市卓球選手団を派遣したことに対する答礼として来沢したもので、金沢市選抜チームと実力伯中の大熱戦を展開した。試合のほかには市内観光、ショッピングなど金沢情緒を充分満喫した一行は、26日、元気で帰国した。



市総合体育館での第1試合

## KANAZAWA⇄BUFFALO

### バッファロから2人の大学教授が来沢

#### アイアナコーン教授夫妻 (バッファロ州立大学教育学部)

バッファロ州立大学のアイアナコーン教授夫妻が昨年7月10日に来沢し8月に開催される「石川インポート・フェスティバル」に出品、即売される古切手5千枚を江川市長に手渡した。同氏は、養護教育が専門で、市内の施設の子供達の現況を視察した。



#### タウブマン教授夫妻 (州立大学バッファロ校歯学部)

州立大学バッファロ校歯学部のタウブマン教授夫妻が昨年11月17日に来沢。神戸での国際学会に出席した機会に金沢へ立ち寄ったもので、初めての金沢訪問とあって兼六園や伝統工芸品を見て、その素晴らしさに「ワングダフル」を連発。夫妻は、晩秋の金沢を満喫し翌日離沢した。

# KANAZAWA ⇄ GHENT



## ～гент現代美術館長が来沢～

гент現代美術館長フット氏と娘のマリアンネさんが昨年10月8日、市役所へ江川市長を表敬訪問した。今年、東京で開く美術展の打ち合わせで来日した機会に金沢へ立ち寄ったもので、同館長は美術史が専門分野で、ベルギーで初めての国際的美術館であるгент現代美術館の初代館長として50年に就任。滞在中、金沢美術工芸大学で講演を行うなど教官、学生達とも交流を深めた。

## ～гент市出身の 神父一行が来沢～

гент市出身で兵庫県に住むケルコベ神父がгент市民2人を伴って昨年7月17日に来庁。2人はモニカ嬢とその母親のクラリスさんで、日本へ来た機会に金沢を見学したいと神父に頼み実現したもので、兼六園などを見学し金沢滞在を心ゆくまで楽しんだ。



# トピックス

## 勝田会長 гент、ナンシーを訪問

勝田三郎金沢市議会議長（本会会長）一行が昨年7月26日から8月4日までヨーロッパ訪問の途次гент市とナンシー市を公式訪問した。гентではモンサート市長と会見し両市間の交流が話し合われ友好を深めた。ナンシーではブルーゼ・ジュルバン担当助役の温かい歓待を受けた。また、市議会議員とも会見し、両市の実利的な交流が話し合われ相互理解を深めた。



モンサート・гент市長(中央)との記念撮影

## バファロ、ナンシーで ジャパン・ウィーク開催



昨年9月27日から10月4日まで外務省が主催する「ジャパン・ウィーク」がバファロ市で開催され人気を博した。この催しには、本市からも金沢商工会議所の協力で伝統工芸品約60点が出展され、金沢を紹介するコーナーも設けられ理解が深められた。なお、出展品は、終了後バファロの姉妹都市委員会へ寄贈された。また、同様の催しが本年3月下旬にナンシー市でも開催される予定である。

# 蘇州市開城2500年記念式典に参列して

金沢市議会事務局長 岸 久 泰



昨年10月13日から約1週間、江川市長、勝田市議会議長、県・市日中友好協会代表等8名の金沢市友好訪中団随員として姉妹都市である蘇州市を訪問する機会を得た。金沢、蘇州市の友好都市提携5周年と蘇州市開城2500年を祝つての訪問である。

秋の気配の増す蘇州の豊かな自然の中、俞興徳市長ほか幹部の諸氏との再会を喜び、末長い友情を確かめ合うとともに、改めて奥行きが深い、その歴史に触れることができた。

寒山寺で日本にもなじみの深い古都蘇州。紀元前514年、呉国の王がここに都を置き、以来、2500年を数える。この月、蘇州市民は多彩な記念行事を繰り広げて築城2500年を祝うという。15日には、蘇州市公園会堂で建城2500年記念式典が盛大に催された。市民はもとより金沢市、ピクトリア市など蘇州市と友好関係にある各都市からの来賓ら合わせて約1400人が出席する国際色豊かな式典となった。

近代化への道を進む中国の中で、経済特区に属する蘇州市はいま経済発展を目指し、古都景観の保存と都市開発といった二律背反する課題に直面しているようである。旧市部を環境保全地区、その周囲を開発地区に位置付けることによって、解決の糸口を見いだそうとしている。このことは、記念式典における中国共産党蘇州市委員会の戴心思書記の挨拶の中での歴史的文化遺産等に対する誇らしげな言葉とは裏腹に、「建城記念行事を通じ、蘇州そして祖国を愛する心を喚起し蘇州の振興の原動力としたい」という蘇州市の新たな発展への願いが込められた言葉に、その意気込みがうかがわれた。

わずか一週間ばかりの蘇州、無錫、上海の各市への中国の旅ではあったが、本物の中華料理の味と近代化に向けての国民一体の活気ある雰囲気忘れ難い思い出となっている。悠久の歴史を生きぬいた彼等のことである。時をかけた彼等の目指す近代化を実現するにちがいない。

## Information ～金沢の記念品事情～

金沢市役所を表敬訪問する外国人が近年とみに増加している。そんな中でとりわけ苦勞するのが外国人来訪者に贈る記念品選びで、金沢らしく、安くて喜ばれる物の選定に気を使っている。一番多く使う記念品は、七宝で、ことじ灯籠と雪吊りをデザインした1個370円のバッジ(写真)で、原則として市長が自ら来客の胸につける。その他に市の英文パンフレット、また、金沢市のオリジナル製品で、白梅を描いた九谷焼の高杯盃も来訪者から喜ばれている。



## 61年度その他の交流

- 4 / 17 北京中医学訪日友好団一行5名が来庁
- 4 / 17-20 中国市長代表団一行が全国市長会の招きで来沢
- 5 / 10 ソ連観光船アリアムーリエ号が来港(5/22、10/6、11/4にも来港)
- 5 / 26 インド大使館のアイヤー次席が家族を伴って来沢
- 5 / 29 マレーシアのロータリアンの子弟14名が来庁
- 6 / 18 ケニア大使館のワルセ商務館が来庁し、東アフリカ物産展への協力を要請
- 6 / 20 アメリカのポート・タウンセント高校生一行が来庁
- 6 / 26 ソ連大使館のセリワノフ領事部長とウソフ駐在武官が来庁
- 7 / 16, 28 ライオンズクラブの夏期青少年交流学生が来庁
- 8 / 21-23 金沢市水泳協会蘇州市訪問団一行31名が蘇州市を訪問
- 11 / 4 オーストラリア大使館一等書記官アラン・トーマス氏が来沢
- 11 / 18 在大阪・神戸アメリカ合衆国総領事マロット氏夫妻が来庁
- 11 / 22-25 市内アマチュアジャズバンド「デキシーランド・ルイス」が蘇州市、上海市で公演
- 12 / 17 西ドイツの教会音楽家ペーター・シューマン氏が来庁
- 1 / 8 日英シンポジウムのパネリストであるイギリスのマイケル・ヘバート氏、ジョン・チェシャイヤー氏が来庁
- 1 / 12 ゲント市のゴブラン宮崎夫妻が来沢
- 2 / 26 愛新覚羅氏一行5名が「中国書画展」開催を機に来庁

## ▶ 編集後記 ◀

61年度もめまぐるしく国際交流が行われましたが、最近の傾向として共産圏の国々との間に交流が片寄ってきたことは否めません。特にポルトアレグレ市とは、不本意ながらも淋しい交流状況にありました。来年度は、在ブラジル石川県人会も50周年の記念の年を迎えますので、それを機に少しでも人的なつながりを増やせたらと願います。